

エコアクション21

環境経営レポート

作成・活用マニュアル（仮称）

未承認稿

2017年X月

エコアクション21 中央事務局

目次

作成・活用マニュアルの目的・読み方 頁 No.

第Ⅰ部 環境経営へのチャレンジ 頁 No.

1. 世界では大きな方向性の転換がはじまりました 頁 No.
2. 中小企業にとってビジネス・モデルの転換の必要性 頁 No.
3. エコアクション2.1に取り組むにあたって 頁 No.
4. エコアクション2.1に取り組むにあたって 頁 No.
5. 環境経営レポート作成から活用までの流れ 頁 No.
6. 環境経営レポートの骨子 頁 No.

第Ⅱ部 作成編 頁 No.

1. 導入段階 頁 No.

	2. 発展 段階	3. 継続的 発展 段階
--	-------------	--------------------

最終的に構成に合わせて頁 No.等を修正

②対象範囲		
③環境経営方針	頁 No.	頁 No.
④環境経営目標	頁 No.	頁 No.
⑤環境経営計画		
⑥環境経営計画に基づき実施した取組内容	頁 No.	頁 No.
⑦環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価		
⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無	頁 No.	頁 No.
⑨代表者による全体評価と見直し及び指示、並びに次年度の環境経営目標と取組内容	頁 No.	頁 No.
⑩その他	頁 No.	頁 No.

第Ⅲ部 活用編 頁 No.

1. 導入段階 頁 No.
2. 発展段階 頁 No.
3. 継続的発展段階 頁 No.

第Ⅳ部 テンプレート 頁 No.

レポート引用事業者一覧 頁 No.

未承認稿

作成・活用マニュアルの目的・読み方

このマニュアルは、エコアクション21に取り組む事業者が、エコアクション21ガイドライン（2017年版）の要求事項である「環境経営レポート」を①円滑に作成する、②段階的に内容の充実・工夫を図る、③組織内外で十分に活用するための手引きとして策定されたものです。

エコアクション21に取り組む事業者には、初めて認証・登録の審査を受ける事業者から、エコアクション21に取り組み始めてから10年以上という事業者まで、さまざまな取組レベルの事業者がいます。

本マニュアルでは、まず第Ⅰ部で「環境経営レポート」の作成・活用を含めた環境経営の意義について説明し、その後、第Ⅱ部で事業者の取組レベル（導入段階・発展段階・継続的発展段階）ごとに、「環境経営レポート」の作成・活用におけるポイントについて説明します。最後に、第Ⅳ部として特に導入段階の事業者向けのテンプレートを掲載しています。

このマニュアルの最初から最後まで必ずしも順番通りに読む必要はありません。事業者の取組レベルや目的に応じて、必要と思われるところから読み始めてください。

第Ⅰ部

環境経営（サステナビリティ経営）

へのチャレンジ

1. 世界では大きな方向性の転換がはじまりました

2015 年は私たち人類にとって文明の大きな転換点となった年でした。

16 世紀ごろに近代が始まって以来、私たちは産業革命を経て現代の一大工業文明を築いてきましたが、それは「無限」を前提に一直線の成長・進歩を目指すものでした。

しかし、2015 年になされた 2 つの重要な世界的な約束により、この方向性が大きく変化しました。9 月の国連総会での「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ (Sustainable Developing Goals: SDGs)」と 12 月の国連の気候変動枠組条約第 21 回締約国会議 (COP21) での「パリ協定」の採択です。

SDGs は 2030 年に向けて先進国、途上国を問わず、すべての国々、企業、人々が取り組むべき優先課題とありたい姿を示しています。

パリ協定では産業革命以前に比べて地球の平均気温を 2℃以下で 1.5℃の上昇に留めるということや、21 世紀の後半には実質的に人為起源の温室効果ガスの排出をゼロにすることなどが合意されています。

これは、もはや二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスを無限に出し続けることはしないという意味です。単なる「省エネ」ではなく温室効果ガスの「排出に制限」を設ける脱炭素の世界です。すなわち「有限」の世界に突入したのです。

政府は 2016 年 5 月 13 日に閣議決定した「地球温暖化対策計画」の中で以下のように述べています。

「(前略) 長期的目標として 2050 年までに 80%の温室効果ガスの排出削減を目指す。このような大幅な排出削減は、従来の取組の延長では実現が困難である。したがって、抜本的排出削減を可能とする革新的技術の開発・普及などイノベーションによる解決を最大限に追求する (後略)」

物づくり産業だけではなく、サービス産業といえどもこの文明の方向性の転換から逃れることはできません。また、私たち個人のライフスタイルも変革を求められているのです。

まさに、産業革命以来の大量採掘、大量生産、大量消費、大量廃棄という一直線の経済シ

システムは終焉を迎えだしたのです。これからのキーワードは「持続可能性（サステナビリティ）」です。

民間でもトヨタ自動車をはじめとする自動車業界は脱炭素の方向を打ち出しています。「トヨタ環境チャレンジ 2050」ではサプライ・チェーンを含めて車の製造での二酸化炭素排出を 2050 年にはゼロにすることを目指しており、部品を提供している電機業界等が追随し始めています。すそ野の広い自動車産業ですから例えば第 10 次下請けにまで要請が来るのには時間がかかると思われますが、いずれ要請が来ることは必至です。

さらにトヨタ自動車は「車から車をつくる」ということもチャレンジしています。これは極論すると新しい資源を使わず、使用している中古の資源で循環型社会を作るという意味と理解できます。事実として、鉱物資源については 2030 年ごろから 2050 年にかけて現在の確認埋蔵量のほとんどが掘り尽くされるという予測もでています。すなわち、資源も当然のことながら「有限」です。

2. 中小企業にとってのビジネス・モデルの転換の必要性

中小企業といえども、こうした状況を目前にして従来のビジネス・モデル通りの経営を続けているのでは突然死しかねないリスクをはらんでいます。

そうならないための取組が「環境経営へのチャレンジ」です。この場合の環境は汚染物質の排出などを削減するという狭い意味の環境だけではなく、それらも含みますが、地球環境が維持され、人類社会が持続的に維持されるという、もっと広い意味の環境であり、それは「サステナビリティ」と同義です。

如何にビジネス・モデルの転換が必要といっても、例えば二酸化炭素の排出を一気にゼロにするなどということは、まずはできません。再生可能エネルギーの普及など社会のシステムの転換や、取引先等との相談等々を通して変化の先を少しだけでも先取りして、生き残りと発展をかけたビジネス・モデルに転換していく、これが「環境経営へのチャレンジ」です。

「環境経営＝サステナビリティ経営」という新しいビジネス・モデルが天から降りてくることはありません。それは経営者が従業員たち等と一体になって知恵を絞り出すことからしか生まれません。知恵を発揮するためには、まずは、社会の状況、自社の事業及び環境につ

いての課題やチャンスをよく知る必要があります。それらを知り、知恵を絞りだすことで自社の持続可能な発展が展望できます。

では中小企業にとって具体的に「環境経営へのチャレンジ」に対し「何から取り組めばよい」のでしょうか。

その入口が環境省策定のエコアクション21へのチャレンジです。

まずは14項目の必須要求事項についてプラン（Plan）、ドゥ（Do）、チェック（Check）、アクト（Act）というPDCAサイクルを回すことから始めます。取り組むことで知識を増やし知恵を発揮できる土台を築きます。

そして、自らの取組を環境経営レポートとしてまとめ、年々、充実させていくことで、従業員の意欲向上や取引先からの評価向上、ブランド価値向上やビジネス・モデルの進化など環境経営の実現に結び付けていきます。

3. エコアクション21に取り組むにあたって

エコアクション21では、無理なく活動を継続ができるよう取組を進める際には、審査員から助言を得ることができます。分からないことがあれば、審査員に相談をしてください。また、中央事務局のホームページ等で環境省補助事業（例：Eco-CRIP）活用事例集等を公表しています。これらも是非参考にしてください。

4. エコアクション21に取り組むメリット

エコアクション21に取り組むことで、次の5点のメリットがあります。

① 環境経営レポート等を活用した環境コミュニケーションを通じ社会との対話を促進し、自社の価値を向上させることができます

エコアクション21では、本マニュアルで解説する「環境経営レポート」の作成・活用、データの提供を活動の柱の一つとしています。環境経営レポートは、事業者と関係者が集う対話のための入口です。対話を通じて、自社の環境経営の質を高めることができます。また、環境経営レポートは、会社案内等にも組み込み、自社のPRにも活用することもできます。さらに、エコアクション21認証・登録を受けることで、自社のパンフ

レット、カタログ、封筒、社員の名刺等にエコアクション21のロゴマークを使用することができ、自社の環境経営を対外的にPRすることができます。

② 環境をベースに自社の成長と変革を促進できます

エコアクション21を通じて、事業者は、自社の事業活動全般を見直し、自社と環境との関わりを見極めながら、自社の成長・変革と環境への取組を促進することができます。エコアクション21では、当該取組を効果的・効率的に実施するため、国際標準化機構のISO 14000 シリーズ規格も参考としつつ、中小事業者にとっても取り組みやすい環境経営システムを規定しています。この環境経営マネジメントシステムを構築、運用、維持することにより、環境への取組の推進だけでなく、経費の削減や生産性・歩留まりの向上、新たな事業アイデアのヒント等、経営面でも効果があります。

③ 必要な環境への取組、活動内容が明確です

仕組みだけでは、自社の経営にも環境への配慮にも役には立ちません。エコアクション21では、「環境マネジメントシステム」「環境への取組」及び「環境コミュニケーション」の3要素がひとつに統合されています。また、必ず把握すべき環境負荷項目を明確に決めています。具体的には、「二酸化炭素排出量」「廃棄物排出量」「水使用量」の3つを必須項目と規定しています。さらに、必ず取り組んでいただく活動として、「省エネルギー」「廃棄物の削減・リサイクル」「節水」「自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組」及び「環境経営レポートの作成と公表及び環境データの提供」を定めています。項目が明確になることで自社の環境取組が可視化され、目標等が立てやすくなります。

④ エコアクション21の取組を第三者が支援・評価し、自社の社会的信頼を客観的に高めることができます

エコアクション21に自主的・積極的に取り組み、本ガイドラインで定められている環境経営システム及び環境経営レポートに関する規定（以下、「要求事項」と言います）を満たす事業者に対し、審査員が一定の評価を与える制度としてエコアクション21の認証・登録制度が実施されています。また、評価と合わせ、取組レベルを向上させるために審査員から助言を得ることができます。

⑤ 顧客からの要求等に対応することができます

多くの大手企業が、環境への取組や環境経営システムの構築を取引条件の一つとしており、これに対応することができます。また、認証・登録によって、自治体の補助を受けたり、入札参加資格審査での加点を受けたりすることができる場合があります。また、銀行、信用金庫、信用組合等の多くの金融機関で、エコアクション21に取り組む事業者への低利融資制度が始められています。

5. 環境経営レポート作成から活用までの流れ

環境経営レポートは、自らの環境取組を様々な人へ語りかけるための対話ツールです。環境経営レポートを作成し、積極的に公表・活用することで、皆さんの環境取組を応援する人々と協働の輪を広げることができます。

環境経営レポートの作成について、本マニュアルに記載されている9つの項目*は最低限含める必要がありますが、過度に形式的になる必要はありません。エコアクション21の取組年数や活動の進展にあわせ、見せ方の工夫や記載内容の充実、独自の項目を記載するといった工夫をしてみましょう。

さらに、環境経営レポートは単独のレポートとして作成・活用するほか、会社案内等の媒体と一体化して作成することも可能です。この場合「エコアクション21環境経営レポートが含まれている」旨を表紙に明記してください。また、中央事務局のホームページでは、全国の事業者の環境経営レポートを業種別・地域別・規模別等、容易に閲覧することが可能です。是非参考にしてみてください。

* 環境経営レポートに含むべき9つの項目は、本マニュアル「第II部 作成編」を参照してください。

第Ⅱ部

作成編

- | | |
|--------------------|--------|
| 1. 導入段階（1～2 年*） | XX ページ |
| 2. 発展段階（3～5 年*） | XX ページ |
| 3. 継続的発展段階（6 年以上*） | XX ページ |

【凡例】



: 良い点



: さらに良くするワンポイント

* それぞれの段階の年数はあくまで目安です。事業者の取組レベルに合わせて、無理のない範囲で環境経営レポートの作成に取り組んでください。

環境経営レポートの骨子

エコアクション21ガイドラインが定めるとおり、環境経営レポートには以下の9つの記載項目が含まれている必要があります。

	環境経営レポートの記載項目	関連する要求事項*
Plan	① 組織の概要	要求事項 1. 取組の対象組織・活動の明確化
	② 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	要求事項 1. 取組の対象組織・活動の明確化 要求事項 7. 実施体制の構築
	③ 環境経営方針	要求事項 3. 環境経営方針の策定
	④ 環境経営目標	要求事項 6. 環境経営目標及び環境経営計画の策定
	⑤ 環境経営計画	
Do	⑥ 環境経営計画に基づき実施した取組内容	要求事項 13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防
Check	⑦ 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	要求事項 13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防
	⑧ 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	要求事項 5. 環境関連法規等の取りまとめ 要求事項 13. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防
Act	⑨ 代表者による全体評価と見直し及び指示、並びに次年度の環境経営目標と 取組内容	要求事項 14. 代表者による全体の評価と見直し・指示

* ここに示した要求事項のほかに、「要求事項 12. 文書類の作成・管理」が各項目の記録・文書化を求めています。

1. 導入段階

導入段階の事業者は、エコアクション21ガイドラインの各要求事項を満たすために作成した文書類を、次のページから示すテンプレートに貼り付けていきましょう。

エコアクション21中央事務局のウェブサイト（URL）には、テンプレートの電子ファイルのほか、環境経営レポートの作成のために有用な情報が掲載されていますので、必ず参照してください。

未承認稿

環境経営レポート

承認稿

事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社
対象期間	〇〇〇〇年〇〇月 ~ 〇〇〇〇年〇〇月
発行日	〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

1. 組織の概要

- ◆ 事業所名及び代表者氏名

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社

代表取締役社長 ○○ ○○

- ◆ 所在地

本社： ○○○○○○○○○○○○○○○○○

EA21 認証対象サイト: ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

- ◆ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者： ○○ ○○ (○○部)

電話番号： ○○○○○○○○○○○○○○○○

E-mail : ○○○○@○○○○○○○○○○

- ◆ 事業活動の内容

- ## ◆ 事業の規模

主要業務売上高

従業員数： ○

延床面積：○

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

2. 対象範囲

当社は全組織・全活動対象としています。

- ◆ 登録組織名

○○○○○○○○会

- ◆ 対象事業所

本社（住所：〇〇〇〇〇〇／〇〇〇〇〇〇〇〇）

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

3. 環境經營方針

〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社 環境経営方針

＜企業理念・行動指針＞

[illegible]

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

[illegible]

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社

代表取締役社長 ○○ ○○

4. 環境経営目標

	〇〇〇〇年度（基準年度）	〇〇〇〇年度
①二酸化炭素排出量		
電気	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%
その他エネルギー※	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%
合計	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%
②廃棄物排出量		
一般廃棄物	〇〇〇〇 t	△3%
産業廃棄物	〇〇〇〇 t	△3%
③水使用量	〇〇〇〇 L	△3%

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

※ その他エネルギーとして、〇〇、〇〇、〇〇の使用による二酸化炭素排出量を計上しています。

※ 二酸化炭素排出係数は、〇〇を使用しています。

5. 環境経営活動計画

上記の環境経営目標の達成のために、以下の環境経営活動計画を策定しました。

環境活動計画	
二酸化炭素排出量削減（電気）	①可能な限り太陽光を利用する
	②エアコンの設定温度を〇〇℃（夏期）、〇〇℃（冬期）
廃棄物排出量削減	①可能な限り両面印刷とする
	②紙ゴミを分別し、資源化する
水使用量削減	①
	②

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

6. 環境経営活動計画に基づき実施した取組内容

環境活動計画		取組内容
二酸化炭素排出量削減（電気）	①可能な限り太陽光を利用する	
	②エアコンの設定温度を〇〇℃（夏期）、〇〇℃（冬期）とする	
	③使用する PC の省エネ設定を見直す	
廃棄物排出量削減	①可能な限り両面印刷とする	
	②紙コップを分別し、資源化する	
水使用量削減	要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう	

7. 環境経営目標及び環境活動計画の実績・取組結果とその評価

	〇〇〇〇年度 （基準年度）	〇〇〇〇年度		
		目標	実績	達成状況
①二酸化炭素排出量				
電気	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%	〇〇〇〇 kg-CO ₂	○
その他エネルギー	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%	〇〇〇〇 kg-CO ₂	×
※				
合計	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%	〇〇〇〇 kg-CO ₂	○
②廃棄物排出量				
一般廃棄物		△3%	〇〇〇〇 kg	○
産業廃棄物				
③水使用量				

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

※ その他エネルギーとして、〇〇、〇〇、〇〇の使用による二酸化炭素排出量を計上して

います。

※ 二酸化炭素排出係数は、〇〇を使用しています。

凡例：○目標達成 △目標未達成但し基準年より改善 ×目標未達成

実績には二酸化炭素総排出量を含む

環境活動計画		取組内容	評価
二酸化炭素 排出量削減 (電気)	①可能な限り太陽光を利用する		
	②エアコンの設定温度を〇〇℃(夏期)、〇〇℃(冬期)とする		
	③使用するPCの省エネ設定を見直す		
廃棄物排出 量削減	①可能な限り両面印刷とする		
	②紙ゴミを資源化する		
水使用量削減	①	要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう	
	②		

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、〇〇〇〇年〇〇月〇〇日に遵守状況
を評価した結果、これらへの違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘
は、過去3年間ありませんでした。

適用を受ける環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、化学物質等)	遵守状況の確認・評価
〇〇〇〇〇法	要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう	
〇〇〇〇〇法		

◆ 代表者による全体評価

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう

③水使用量	〇〇〇〇 L	△3%
-------	--------	-----

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

〇〇〇〇年度：〇〇〇〇年〇〇月～〇〇〇〇年〇〇月

※ その他エネルギーとして、〇〇、〇〇、〇〇の使用による二酸化炭素排出量を計上しています。

※ CO2 排出係数は、〇〇を使用しています。

◆ 次年度の環境経営活動計画

環境活動計画		取組内容
二酸化炭素排出量削減（電気）	①可能な限り太陽光を利用する	
	②エアコンの設定温度を〇〇℃（夏期）、〇〇℃（冬期）とする	
	③使用する PC の省エネ設定を見直す	
廃棄物排出量削減	①可能な限り両面印刷とする	
	要求事項〇〇で作成した〇〇〇〇を貼り付けましょう	
水使用量削減		
	②	

①代表者の顔写真等



代表者の顔が見えることにより、信頼度の向上にも繋がります

- 👍 実施体制を図示し、担当者と役割・責任・権限が明示されています
- 👉 通常の組織図との関係性を明らかにできるとより良いでしょう

👍 実績を掲載することで、事業内容が分かりやすくなります

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

⑦多くの情報を表で整理

当社は、下表の許可に基づき産業廃棄物及び一般廃棄物の処理を行っています。

産業廃棄物処理業・収集運搬業

平成27年3月31日現在

業の区分	都道府県	許可番号	許可年月日 有効期間年月日	施設名	処理方法	産業廃棄物の種類									
						廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	ガラス・陶磁器くず	おがくず	燃え殻	汚泥	廃油	廃薬・危険物等
中間処理	東京都	13-20-000443	平成23年9月13日 平成28年9月12日	府中中間 処理施設	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				多摩中間 処理施設	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	東京都	13-10-000443	平成23年9月13日 平成28年9月12日	—	圧縮	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	圧縮梱包	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	09810000440	平成27年4月9日 平成32年4月8日	稲穂原 焼却炉	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				稲穂原 焼却炉	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	01102000440	平成27年5月25日 平成32年4月8日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	01200000440	平成23年1月28日 平成28年1月27日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	01200000440	平成27年4月24日 平成32年4月23日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	09600000440	平成23年7月2日 平成28年7月1日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	10000000440	平成23年8月19日 平成28年8月18日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
収集運搬	埼玉県	01800000440	平成25年12月3日 平成30年11月2日	—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
				—	焼却	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

処理区分、廃棄物の処理等、多くの情報を表で分かりやすくまとめています

⑨沿革と合わせた環境活動・外部評価

《 沿革 》

昭和27年 7月 自動車部品販売店 北陽商会を開設

37年 9月 自動車販売整備業 株式会社北陽商会を設立【認定番号:30-185】

平成 3年11月 指定自動車整備事業者認定【指定番号:岡619-12345678】

18年 5月 エコアクション21 認証登録【認定番号:0000744】

8月 岡山エコ事業所(一般事業所)認定取得【認定番号:10028】

20年11月 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」1 回目受賞

21年11月 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」2 回目受賞

22年 3月 「第13回環境コミュニケーション大賞(環境レポート部門)優秀賞」受賞

4月 チャレンジ25に登録

10月 「岡山県地球温暖化防止活動(岡山県備中県民局長表彰)」受賞

11月 「環境保全対策優良事業所(岡山運輸支局長表彰)」3 回目受賞

23年 8月 「環境保全対策優良事業所(国運輸局長表彰)」受賞

24年 3月 岡山エコ事業所(ゼロエミッション)認定取得【認定番号:30056】

25年 3月 「2012年度環境力大賞(環境文明21 & 日刊工業新聞社)」受賞

5月 「グリーンショップ大賞(AIRジャパン)」受賞

26年 3月 「第17回環境コミュニケーション大賞(環境レポート部門)大賞」受賞

27年 2月 「第18回環境コミュニケーション大賞(環境レポート部門)優良賞」受賞

環境対策と合わせて沿革を掲載することで、継続した環境配慮をしていることが読者にも伝わります。
また、外部からの評価を掲載することで、社員のモチベーション向上につながります

⑪経年での事業規模指標

● 事業の規模

活動規模(単位)	2012年	2013年	2014年
生産量(t)	487	354	303
売上高(百万円)	829	772	695
従業員(人)	73(14)	73(14)	64(13)
床面積(m ²)	2,147	2,147	2,147

()の人数は、他社の構内で作業し、その会社の環境組織の中で 環境活動に関わっている。

経年で事業規模の指標が明示されています

⑧施設ごとの活動内容

混合廃棄物を中心に受け入れ選別し、リサイクル物を回収する施設です。回収物は、リサイクル原料としてグループ企業で再資源化しています。

感染性産業廃棄物などの特別管理産業廃棄物やマテリアルリサイクル不燃物などを処理する施設です。また、廃棄物を焼却処理した後の灰質を利用し、高気タービンにより発電を行い、焼内動力用の一部として使用しています。

環境学習や施設見学の場として活用しており、平成26年度は、414名のお客様が施設の見学にお越しになりました。

食品系スラッジなど有機汚泥・無機汚泥を脱水処理しています。また、焼却炉の炉内温度調整水として循環利用を徹底しており、焼却炉排水は行っていないです。

燃入車両の計量・選別、マニフェスト管理、契約等の事務処理を行っています。

環境活動
ここへ行く
環境活動
ここへ行く
環境活動
ここへ行く

施設ごとに特徴や活動内容が明示されています

⑩製品・サービスの写真等

取扱主要製品

グローバル・サステナブルな水産資源調達。

担当部署

マグロ

宮業第1部・宮業第3部

副産物の活用 開発部

未利用部位の有効活用として、コラーゲン・魚油・フィッシュミール等を開発・製造。

カツオ 宮業第2部

エビ 宮業第4部

サケ 宮業第6部

その他 宮業第5部

製品・サービスの写真等を掲載することで、事業内容が分かりやすくなります

⑫対象範囲、内容、認証取得時期の明示

宮田小学校 【2012 認証取得】

宮田中学校 【2012 認証取得】

上下水道施設 【2013 認証取得】

管理担当課・係 上下水道施設：第2～9水源、浄水場、第1～2配水地、分水井、割ポンプ場
建設課 上下水道係 下水通施設：アクトランド、公共MP12箇所、コンポストセンター、第1～7トリート
農集MP4箇所

今後拡大を予定する施設

その他の関連施設

施設の種類	施設の内容	認証予定年度
その他の施設	なごみ家・子育て支援センターうめつらん	2015年度

適用範囲の変更(予定)がある場合、その範囲や認証取得時期を掲載してみましょう
時系列を分かりやすくするとさらに良いでしょう

ここで紹介している例以外にも、エコアクション 2.1 中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL 等)

2.3. 環境經營方針

「環境経営方針」は事業者の環境経営にあたっての基本方針を説明するものです。発展段階での工夫には、次のようなものが挙げられるでしょう。

3. 環境經營方針

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社 環境経営方針

＜企業理念・行動指針＞

◎專業人士與讀者必備之閱讀

①事業による環境負荷の認識

A horizontal number line with circles at each integer from 0 to 20. A bracket is drawn above the line, spanning from the circle at 10 to the circle at 15.

②本業を通じた環境取組の推進

②本業を通じた環境取組の推進

[illegible][illegible]

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

③代表者の顔写真等

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇会社

代表取締役社長 ○○ ○○

①事業による環境負荷の認識

〈環境理念〉

済生会吹田病院の理念は『やすらぎの医療』です。安全・安心で高度な医療を提供することを基本に急性期医療を行っています。

医療を提供する一方で、多量のエネルギーを使用し、廃棄物を排出しています。環境へ多くの負担をかけていることを自覚し、職員一人ひとりが継続的に環境保全に努めます。

 事業が環境に与える影響を認識し、明示しています

②本業を通じた環境取組の推進

1 環境にやさしい商品づくり

- ・環境負荷の少ない新商品の開発を進めて参ります。
- ・既存商品の製造工程を見直して、環境負荷を軽減します。
- ・商品の包装や梱包資材などを簡略化し、環境負荷を軽減します。
- ・在庫管理を効率化に行い、入庫に際する物流エネルギーの削減に努めます。
- ・商品の売上の一部を「森林保護活動」や「海洋保全活動」の為に役立てます。

👍 環境負荷削減だけでなく、本業を通じた環境取組推進の姿勢が伺えます

③代表者の顔写真



👍 代表者の見える化により、信頼度の向上にも繋がります

ここで紹介している例以外にも、エコアクション 2.1 中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考に見てみてください。(URL 等)

2.4. 環境經營目標

「環境経営目標」における発展段階での工夫には、次のようなものが挙げられるでしょう。

4. 環境經營目標

①サイト別情報

④中期環境経営目標の設定

	〇〇〇〇年度（基準年度）	〇〇〇〇年度
①二酸化炭素排出量		
電気	〇〇〇〇 kg-CO ₂	②数値目標の設定 △3%
その他エネルギー※	〇〇〇〇 kg-CO ₂	③今年度分の強調 △3%
合計	〇〇〇〇 kg-CO ₂	△3%
②廃棄物排出量		
一般廃棄物	〇〇〇〇 kg	△3%
産業廃棄物	〇〇〇〇 kg	△3%
③水使用量	〇〇〇〇 L	△3%

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

⑤地域独自の目標

※ その他エネルギーとして、〇〇、〇〇、〇〇の使用による二酸化炭素排出量を計上して

※ 二酸化炭素排出係数は、〇〇を使用しています。

⑥目標等と実施体制 の関連づけ

①サイト別情報

環境目標	単位	場所	基準年実績値	平成23年度目標値 ($\sim 1\sim 2\%$)	平成24年度目標値 ($\sim 1\sim 4\%$)
二酸化炭素 排出量の削減	Kg- CO ₂	事務所	49,845.97	48,849.05	47,852.13
		建設現場	723,329.64	708,863.04	694,396.45
		全体	773,175.61	757,712.09	742,248.58
1) 電気 使用量の削減	kWh	事務所	39,637	38,844	38,052
		建設現場	2,163	2,120	2,076
		全体	41,800	40,964	40,128
2) 灯油 使用量の削減	ℓ	事務所	3,046.00	2,985.08	2,924.16
		建設現場	569.00	557.62	546.24
		全体	3,615.00	3,542.70	3,470.40



サイト別の情報を掲載しています

②数値目標の設定

項 目		単位	H23年度 (24人)	
削減目標	二酸化炭素排出量	絶対量 従来員1人当たり kg-CO ₂ /人	40.728 1.697	
	電気使用量	絶対量 従来員1人当たり kWh/人	18.240 760	
	ガソリン及び軽油使用量	絶対量 従来員1人当たり L/人	14.568 607	
	廃棄物排出量	絶対量 従来員1人当たり kg/人	594 24.73	
	紙の使用量	絶対量 従来員1人当たり kg/人	124.80 5,200	
	総排水量	絶対量 従来員1人当たり m ³ /人	140.88 5.87	
ブラース目標	環境に配慮した業務推進	提案件数	件	-
	グリーン購入の推進	事務用品購入率	%	70.6
	オゾン発生製品販売量	訪問件数	件	111
		販売件数	件	14
	オゾン発生量(mg/台×台)	mg	1,090	
	太陽光発電製品販売量	訪問件数	件	675
		販売件数	件	3
	太陽光発電電量(kWh/件×件)	kWh	18.01	
オール電化製品販売量	販売件数	件	2	
環境関連研修会の参加	遮熱塗料ガイボの販売量	訪問件数	件	184
	販売件数	件	12	
	地域環境活動(6/ラビイ活動)	毎月1回	回	12
	環境関連研修会の参加	社外研修会	回	13

👍 数値化の難しい目標についても、工夫して可能な限り数値による目標を設定しています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

③今年度分の強調

④中期環境経営目標の設定

Environmental Activities

※二酸化炭素排出量を把握する際に用いた、購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.566-kg-CO₂/kWh

目標項目 ※2013年度以降の目標については 代替削減率を記載しています。	2014年 実績	2015年		目標達成率	2016年 目標	2017年 目標	2018年 目標
		目標	実績				
二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	20,330	21,354	19,624	108%		21,400	
電力 (kwh)	24,690	25,679	22,250	115%	21,714	21,545	21,378
ガソリン (L)	4,864	5,149	4,945	104%	5,149		
廃棄物排出量の削減 (kg)					191		
一般廃棄物 紙 (kg)	1,353	1,379	1,495	92%			
一般廃棄物 紙以外 (kg)							
産業廃棄物 (kg)	2,803	—	2,105	—			
水使用量の削減 (m ³)	463	532	561	95%	532		
環境配慮型商品の販売							
潤滑油 オイル (L)	27,960	28,239	35,851	127%	35,350	35,703	36,060
添加剤 (本)	—	—	288	—	302	316	330

レポートの報告年度が強調されています

3 年間の中期目標が設定・明示されています

⑥目標等と実施体制の関連づけ

活動内容	担当者	責任者
エアコンの設定温度を夏28度冬20度に設定 (事務所)	全員	環境管理推進者
定期的なフィルターの清掃	全員	
使用していない場所は空調を停止 (恒温室を除く)	全員	
使用していない場所は消灯	全員	
人感センサー照明 (消し忘れ防止)	環境管理推進者	
効率的な照明の利用 (必要な場所のみ点灯)	全員	
使用していない設備や機器の電源OFF	全員	
温水便座の温度設定を低くする	環境管理推進者	
帰宅時のパソコン電源OFF	全員	
自動販売機の節電設定	環境管理推進者	
待機電力の削減	全員	環境管理推進者
換気と周囲温度の検討 (コンプレッサー)	環境管理推進者	
不要なアイドリングストップ	全員	
車内の不要な荷物を下ろす	全員	
急発進・急加速禁止の徹底	全員	
タイヤの空気圧をチェック	環境管理推進者	
省エネオイルの使用	環境管理推進者	環境管理推進者
定期点検	環境管理推進者	
燃料消費削減	効率的な集配ルートとタイミングを検討	全員

目標・計画・取組等と実施体制が関連づけられ、一覧表にまとめられています

⑤地域独自の目標

(8) 山形エコアクション21活動の推進【目標値 | 対象社員の参加率100%以上】

山形エコアクション21とは？

エコアクション21に、地産地消や水環境保全等独自の項目を追加したものです。
(山形県環境企画課ホームページより)

2014年度の実施実績は、下記の通りです。

実施期日	実施内容
2014年9月8日	会社南側に位置する土手の雑草の草刈り作業
2014年10月15日	あかしあ産園地内の清掃作業
2015年5月19日	あかしあ産園地内の清掃作業
2015年5月22日	土手の雑草の草刈りと会社隣接の側溝の雑草・汚泥の清掃除去

参加率 対象社員の100%が参加しての作業となりました。

取組状況

工業団地清掃作業

土手の草刈り、側溝の清掃前後の写真

作業前

作業後

当社社長鈴木を含め、全員での
単独活動を実施しました。

実績と課題まとめ

前年に続いて、あかしあ産園地内の清掃を2回、山形県と長井市が所有する土手・側溝の
草刈りと清掃を随時、実施しました。あかしあ産園地内清掃は、当社対象社員全員での作業となり
目標は達成されました。土手・側溝の整備は道具が必要となる為、総務部による作業となりました。

地域独自の指標や基準を取り込んでいます。地域における環境活動のレベルアップや知名度の向上等につなげることも期待できます

2.7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

「環境経営計画」は環境経営目標を達成するための具体的な計画を説明するものです。「環境経営計画に基づき実施した取組内容」は plan に対して、実際の do について説明するものです。「環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価」は環境経営計画に基づいて取組を実施した結果をまとめ、評価をおこなうものです。発展段階での工夫には、次のようなものが挙げられるでしょう。

7. 環境経営目標及び環境活動計画の実績・取組結果とその評価

環境活動計画

①写真等

取組内容

二酸化炭素排出量削減（電気）

①可能な限り太陽光を利用する

②エアコンの設定温度を〇〇℃（夏期）／〇〇℃（冬期）とする

③使用するPCの省エネ設定を見直す

②施設・設備ごとの記述

③社内教育実施に関する分かりやすい記述

廃棄物排出量削減

①可能な限り分別し出す

②紙ゴミの削減を図る

⑤月別計画・実績

④新規取組と継続取組の差異化

水使用量削減

①節水に努める

②節水器具の導入を検討する

⑤月別計画・実績

④新規取組と継続取組の差異化

グラフ化（★参照）

目標等と実施体制の関連づけ（★参照）

⑥今年度目標と今年度実績の配置の工夫

〇〇〇〇年度（基準年度）

〇〇〇〇年度

⑩原単位

実績

目標

実績

達成状況

評価

①二酸化炭素排出量

電気

⑫背景要因

kg-CO₂

⑦実績推移

〇〇〇〇 kg-CO₂

○

⑮未達原因・理由の分析

その他エネルギー※

〇〇〇〇 kg-CO₂

△3%

〇〇〇〇 kg-CO₂

×

⑮未達原因・理由の分析

合計

〇〇〇〇 kg-CO₂

△3%

〇〇〇〇 kg-CO₂

○

⑮未達原因・理由の分析

②廃棄物排出量

一般廃棄物

△3%

〇〇〇〇 kg

○

⑯課題の分析

産業廃棄物

△3%

〇〇〇〇 kg

○

⑯課題の分析

③水使用量

△3%

〇〇〇〇 L

○

⑯課題の分析

〇〇〇〇年度～〇〇〇〇年度〇〇月～〇〇〇〇年度〇〇月

⑭化学物質使用量把握

⑪施設・設備ごとの実績

⑨目標達成率

⑰評価に関する解説

※他のエネルギーとして、〇〇、〇〇、〇〇を計上しています。

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

※二酸化炭素排出係数は、〇〇を使用しています。

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

凡例：○目標達成 △目標未達成但し基準年より改善 ×目標未達成

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する解説

⑱詳細情報の注釈化

⑲前年度代表者評価との関連づけ

⑮未達原因・理由の分析

⑯課題の分析

⑰評価に関する

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

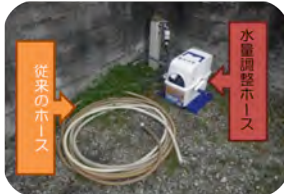
①写真等

○ボリタンクによる手洗い(現場)



現場事務所には雨水を利用した簡易手洗い場を設けました。

○水量調整ホースによる節水(駐車場)



従来のホースを水量調整付きホースに取替えました。

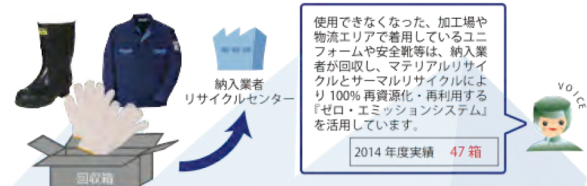
👍 環境経営活動の内容を写真つきで分かりやすく明示しています

③社内教育実施に関する分かりやすい記述

工場及び関連設備における取組

水使用量・廃棄物排出量の負荷が大きい工場及び関連設備における取組。

ユニフォーム等のリサイクル



環境教育訓練計画 / 実績表

対象	内容	達成率	最終的行動	備考
管理職 (各所属長)	- 取り組みの重要性 - EA21の仕組み - 環境目標及び活動計画内容 - 責任者としての役割責任	- 環境マネジメントの意義を理解できるようにする - 仕組みを理解する上で行動計画を立てられるようにする - 目標に対しての活動が適正に判断できるようにする - 所属長としての役割責任を認識	管理者説明会	9月内部監査 質問事項の回答 11月13日 11月19日 11月27日
一般職員	- 環境マネジメントとは - EA21の基本的仕組み - 活動計画の内容手順 - 自らの役割	- 環境活動の重要性理解 - EA21のPDCAライン - 目標に対しての活動が適正かどうか - 自分たちでできる役割を通して次年度以降の活動模索	- 教育研修会 (以里リエンターゼンシ) - 教育研修会 - 教育研修会 - 教育研修会 (以里リエンターゼンシ)	4月6日 9月内部監査 質問事項の回答
特定業務従事者 (特定の資格能力があり、環境に大きな影響を及ぼす業務) 検査技師・薬剤師等	- 環境法について - 法令遵守及び手順 - 環境事故例 - 緊急事態への準備対応	- PRTR法、廃棄物等の内容及び罰則規程について - 感染廃棄物、化学物質の適正な取り扱い - 感染廃棄物、化学物質事故例を通しての事故防止対策 - 緊急事態訓練	- 検査・薬剤 合同勉強会 - 環境事故訓練	9月内部監査 質問事項の回答 11月26日

👍 教育・訓練について、対象者・内容ごとに分かりやすく表でまとめています

👍 教育を受けた人が今度は教師になる「カスケード式」の社内教育にするのも良いでしょう

⑤月別計画・実績

2015年 環境活動計画					C計画 ●実施 □計画未定 ■変更/計画外									
No.	計画項目 (安全環境委員会)	種別	分類	具体的活動内容	目標	責任部署	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
1	安全環境委員会 環境改善委員会	維持管理	1. 環境レポートの更新および公表	10月/年	環境改善委員会	210	●	●	●	●	●	●	●	
		分析会	改善	1. 環境改善委員会	10月/月	環境改善委員会	210	●	●	●	●	●	●	●
		環境改善委員会	維持管理	2. 月間環境改善計画	10月/月	環境改善委員会	210	●	●	●	●	●	●	●
		環境改善委員会	維持管理	3. 月間環境改善計画	10月/月	環境改善委員会	210	●	●	●	●	●	●	●
		環境改善委員会	維持管理	4. 月間環境改善計画	10月/月	環境改善委員会	210	●	●	●	●	●	●	●
2	二酸化炭素削減 排出削減	維持管理	1. デマンド管理による使用量監視	10月/月	製造課技術課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	2. 主要設備の電気使用量管理	10月/月	製造課技術課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	1. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	2. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	3. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	4. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	5. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	6. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	7. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	
		維持管理	8. 環境ファクターの定期確認	10月/月	製造課	210	●	●	●	●	●	●	●	

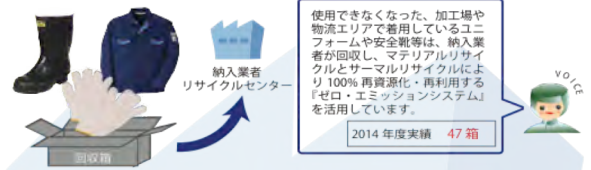
👍 環境経営計画及びその実績が月別に明示されています

②施設・設備ごとの記述

工場及び関連設備における取組

水使用量・廃棄物排出量の負荷が大きい工場及び関連設備における取組。

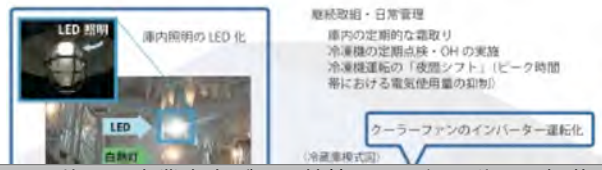
ユニフォーム等のリサイクル



冷凍冷蔵設備における取組・管理

環境負荷の大部分を占める冷凍冷蔵設備における環境負荷低減の取組。

エネルギー使用量の約95%を占める電力使用量のうち、もっとも大きな負荷となっているのが冷凍マシンの品質保持を目的とした超低温冷蔵 (-50℃以下) です。TORIでは、環境活動の重要課題として、超低温冷蔵の運用改善、設備の省エネ化推進、保守管理に取り組んでいます。



👍 施設・事業内容ごとに特筆する取組を分けて掲載しています

④新規取組と継続取組の差異化

■新規取組

- ◆東陽センターではのプリンタ等に関して入替えがありました。
- ◆麻布十番では小売事業部のプリンタ・FAX等の入替えが有りました。

■継続取組

- エアコンとサーキュレータ・扇風機の併用等●事務所にすだれの設置●温度計を使用して室温管理●個別の消灯●OAタップによる待機電流OFF

NEW! 新規環境目標 1

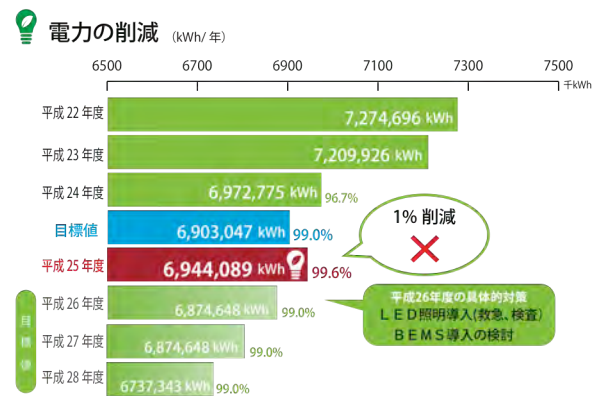
(1) 社用車の燃費向上【次期2015年度より運用 目標値 | 2014年度比で2%UP】

👍 新規取組と継続取組に分けたり、新たな活動を特にピックアップしたりすることで、変更点について理解しやすくなっています

⑥今年度目標と今年度実績の配置の工夫

⑦実績推移

③中期環境経営目標との関連づけ



👍 過年度実績や目標値との比較が容易にできるようにグラフ化され、配置されています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

⑧ 基準年比

5. 環境負荷の現状と考察

[1] 環境負荷の現状 【■基準年度・■目標達成年度・■未達成年度】

CO₂排出量、廃棄物排出量及び水使用量は原単位(排出量/売上)で、事業活動に関連する、エコ整備やリサイクル部品使用及び化学物質使用量は総量で、エコアクション21認証登録した平成18年度を基準(100%)に、平成25年度までの実績です。

環境負荷項目 / 年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
CO ₂ 排出量	原単位(kg/円) 8,244	7,535	7,648	7,760	7,934	7,899	7,104	6,761
	18年度基準比較 100%	91.4%	92.8%	94.1%	96.2%	95.8%	86.2%	82.2%
廃棄物 排出量	原単位(kg/円) 1,264	1,611	0,818	0,760	0,697	0,691	0,615	0,616
	18年度基準比較 100%	126.4%	64.7%	60.1%	55.1%	54.7%	48.7%	48.7%
水 使用 量	原単位(m ³ /円) 0.136	0.080	0.064	0.065	0.050	0.075	0.061	0.060
	18年度基準比較 100%	58.8%	47.1%	40.4%	36.8%	55.1%	44.9%	44.1%
エコ整備台数	総量(台数) 45	58	68	45	58	49	51	52
	18年度基準比較 100%	129%	151%	100%	129%	109%	113%	116%
自動車リサイクル率	総量(台/円) 259	262	271	175	258	210	305	346
	18年度基準比較 100%	101%	105%	68%	100%	81%	118%	133%
化学物質使用量	総量(0/円)	自動車の下回り塗装等に使用				399	451	528
	23年度より把握							

基準年を定めて基準年比を明示することで、緩やかな変化も捉えやすくなっています

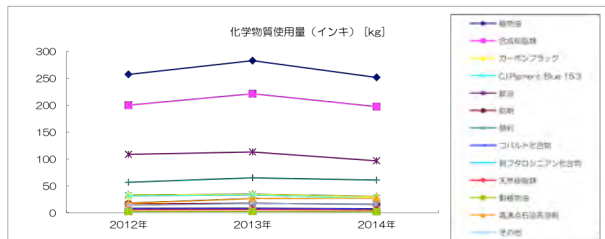
⑩ 原単位



二酸化炭素総排出量、売上、原単位の推移グラフを掲載しています

⑭ 化学物質使用量の把握

●化学物質使用量



化学物質について細かく使用量を把握できています

⑨ 目標達成率

Environmental Activities

目標項目	2014年 実績	2015年 目標	2015年		2016年 目標	2017年 目標	2018年 目標
			実績	目標達成率			
※2015年度実績を基準として 2016年度以降の目標とする。							
二酸化炭素排出量の削減 (t-CO ₂ /円)	20,330	21,354	19,624	108%		21,400	
電力 (kwh)	24,690	25,679	22,250	115%	21,714	21,545	21,378
ガソリン (L)	4,864	5,149	4,945	104%	5,149	※2015年度実績を基準とし、 2016年度以降の目標とする。	
廃棄物排出量の削減 (kg)					191	（一般廃棄物 紙のみの目標） ※2015年度実績を基準とし、 2016年度以降の目標とする。	
一般廃棄物 紙 (kg)	1,353	1,379	1,495	92%			
一般廃棄物 紙以外 (kg)						一般廃棄物 紙以外を基準とする。	
産業廃棄物 (kg)	2,803	—	2,105	—		—	
水使用量の削減 (m ³)	463	532	561	95%	532	※2015年度実績を基準とし、 2016年度以降の目標とする。	
環境配慮型 商品の販売	潤滑油 オイル(L)	27,960	28,239	35,851	127%	35,350	35,703
	添加剤(本)	—	—	285	—	302	316
						330	330

目標達成状況を百分比で明瞭に表示しています

⑪ 設備・施設ごとの実績

② 電力使用量内訳

	使用量(kWh)	占有率
成形機	7,097,751	74.0%
コンプレッサー	863,239	9.0%
照明機器	613,859	6.4%
冷暖房	479,577	5.0%
その他	537,126	5.6%
合計	9,591,552	100.0%

環境負荷がどこからどのくらい生じているかが把握できています

⑫ 背景要因

特記事項 環境負荷は、同じ事務所に勤務するNPO団体所属のスタッフ2名分も含まれる。

2011年、東日本震災による停電等で電力使用量が減少。

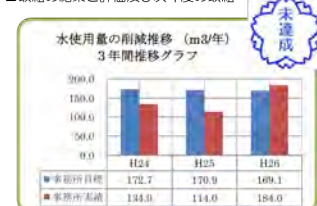
2012年はオフィス移転の為に引っ越し作業等で、廃棄物排出量が急増。

なお、当社における環境負荷は表内の項目のみです。

環境負荷の実績に影響するできごとを掲載しています

⑮ 未達原因・理由の分析

■取組の結果と評価及び次年度の取組



今年度は、新規事業(山樫プロジェクト)を立ち上げ、4月～6月にかけて多くの水を使用した事が未達成の原因です。また、現場では上水使用はありませんが、雨水を利用したポリタンクを設置し、手洗いの時に使用しました。今後も、山樫プロジェクトでは多くの水を使用する事になるので、事務所の節水はもちろんのこと、雨水タンクや雨水を可能な限り利用できるよう、より一層の工夫を行ってまいります。

未達成の原因を明確に把握しています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

⑩課題の分析

廃棄処分となる「単純焼却（生産）」、「単純焼却（一般）」、「不燃」、「廃油その他」をどうしたら減らせるかが現在の課題です。

4つのうち「単純焼却（生産）」、「単純焼却（一般）」、「不燃」の3つはまだまだ努力次第で何とかなると考えています。

「燃やす、埋める」を最小限とするために再生資源となる素材を活かせるよう努め、二酸化炭素の排出量減少と廃棄物の削減に努めていきたいと思ひます。

👍 課題を認識し、公表しています

今年度取組・実績・評価・次年度取組の関連づけ

NO.	取組計画	達成状況	評価	次年度取組の関わり
1	電力による二酸化炭素排出量の削減【数値目標】 ・エプソンの節電化（省電設定）（実施済み） ・照明の削減（12:00～13:00）（実施済み） ・換気扇の削減（実施済み） ・空調機の省エネ運転（実施済み）	◎	継続	・エプソンの節電化が完了した。 ・照明の削減が完了した。 ・換気扇の削減が完了した。 ・空調機の省エネ運転が完了した。
2	紙・電力等の削減【数値目標】 ・コピー用紙の削減（実施済み） ・プリンターの削減（実施済み） ・紙の削減（実施済み）	◎	継続	・コピー用紙の削減が完了した。 ・プリンターの削減が完了した。 ・紙の削減が完了した。
3	廃棄物の削減【数値目標】 ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み）	◎	継続	・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。
4	燃やさないゴミの削減【数値目標】 ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み）	◎	継続	・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。
5	燃やさないゴミの削減【数値目標】 ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み）	◎	継続	・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。
6	燃やさないゴミの削減【数値目標】 ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み）	◎	継続	・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。
7	燃やさないゴミの削減【数値目標】 ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み） ・燃やさないゴミの削減（実施済み）	◎	継続	・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。 ・燃やさないゴミの削減が完了した。

👍 今年度の取組から、その結果を受けた次年度の取組計画までを関連づけ、一覧表にまとめています

⑪評価に関する解説

⑫出典・引用元の明記

⑬詳細情報の注釈化

環境目標の設定に用いる指標

弊社が行う調査・研究業務の流れは、環境への影響の観点からは、例えば以下の図のように見なすことができます。調査・研究の「工程」において紙・電力等の資源を消費し、最終的に環境負荷の低減に貢献する「成果物（報告書等）」を生産していると考えられます。

そこで、この「工程」と「成果物」のそれぞれについて以下に示す評価指標を設定し、環境への影響を評価することとしています。

これらの指標を用いて業務の評価、改善を行うことにより、「工程」については資源消費量の削減（業務の効率化）、「成果物」については全社的な環境負荷低減の向上（成果物の質の向上）が期待できます。

	工程	成果物
評価指標	- 使用電力量(kWh) (→CO₂排出量(kg-CO₂))^(注1) - Nアップ(複数面割り当て印刷)の実施率 (→紙の使用効率) - コピー用紙の使用枚数 (→紙の総使用量)	- A, B, Cランクを基本とする評価 (→業務ごとの「環境負荷低減度」^(注2)) - 業務規模×環境負荷低減度(A, B, C等) (→全社的な「環境負荷低減度」^(注3))

① CO₂排出量は、東京電力の2019年度における値(0.521(kg-CO₂/kWh))を使用した。
② 「環境負荷低減度」は、各業務の環境負荷低減の程度を0～100の数値で表す指標。評価の基準は、以下のとおり(括弧内に示す数値は「環境負荷低減度」)。
Aランク評価(80～100): 当該業務は、環境負荷低減の内容が極めて高く、最も良いと評価される。
Bランク評価(60～80): 当該業務は、環境負荷低減の内容が中程度と評価される。
Cランク評価(40～60): 当該業務は、環境負荷低減の内容が低程度と評価される。
③ 「環境負荷低減度」は、調査・研究業務において環境負荷低減に貢献した程度を表す指標であり、以下の式により算出する。なお、「業務規模」とは、各業務の売上金額に比例して業務ごとの環境負荷低減に貢献した程度を表す指標である。
環境負荷低減度 = 業務規模 × 環境負荷低減度

👍 評価の中身を示すことで、読み手の理解を助けています

👍 注釈で詳細情報や出典・引用先を明確にするなど、読み手に親切な開示となっています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

2.8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

「環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無」は、環境関連法規等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無について取りまとめセクションです。発展段階での工夫には、次のようなものが挙げられるでしょう。

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は以下の通りで、〇〇〇〇年〇〇月〇〇日に遵守状況
を評価した結果、これらへの違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘
は、過去3年間ありませんでした。

①苦情等のネガティブ情報の記述

適用を受ける環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、化学物質等)	遵守状況の確認・評価
〇〇〇〇〇法	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇法	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

②実績値の提示

③取引先からの要求等を明示

④環境関連法規等の適用対象・
施設等の明示

⑤環境関連法規等への
具体的対処

①苦情等のネガティブ情報の記述

参考 環境苦情などへの対応件数

役場庁舎や関連施設に対する環境苦情はありませんでしたが、村の
みなさんから受けた村内の環境などに関する苦情や通報、相談の処理
件数は以下のとおりです。

■村に寄せられた生活環境に対する苦情などの件数

項目	2011	2012	2013	2014年度の件数と主な内容
水質汚濁	5	2	2	7 事故、火災によるオイル流出
騒音・振動	0	1	0	1 仮設工場からの騒音
悪臭	2	1	0	0
野外焼却	1	4	0	1 畑での焼却
不法投棄	11	4	8	20 道路・公共施設などへの家庭ごみ
その他	10	8	10	11 庭木の管理など
計	29	20	20	40

👍 苦情などのネガティブ情報を開示することで、レポ
ートの透明性を向上させることができます

③取引先からの要求等を明示



②実績値の提示

PRTR法

特定化学物質の環境への排出量の把握
及び管理の改善の推進に関する法律
平成25年度 実績値

・ダイオキシン類： 5.5mg-TEQ
・メチルナフタレン： 13.0kg



一部の環境関連法規等について実績値のデータを示
しています

④環境関連法規等の適用対象・施設等の明示

大気汚染防止法	ばい煙発生施設の設置及び変更等届出 事故時の措置 ばい煙濃度等の測定及び記録の保存 排出基準等の遵守	役場	〇 〇 〇 〇
水質汚濁防止法	貯油施設（タンク）の事故時の対応と届出	全施設	〇
下水道法	公共下水道区域内、排水設備の設置義務 事業者の責務 事業活動に伴う廃棄物の適正処理	全施設	〇



環境関連法規等の適用対象（施設等）が明示されて
います

⑤環境関連法規等への具体的対処

水質汚濁防止法	貯油施設	当社では、灯油ホームタンクが貯油施設に該当します。 事故時の外部への漏洩防止として、貯油槽を設置しております。 2013年1月に発生した灯油流出事故の改善策として 「給油自動停止装置」を導入・運用中です。 また、漏洩時の拡散防止策として、各種吸着マット、及び砂袋を 常時配置しております。 危険物置場、溶剤を使った作業場所等へは初期消火対応、 漏洩防止対応の方法を記載した指示書を掲示して 緊急事態への対応が確実に実施可能な状態としています。
---------	------	---



環境関連法規等の対処を具体的に記載することで、
信頼性を向上させることができます

取組内容

経営目標と取

組内容

代表者の顔写真等の掲載（★参照）

①今後の方向性について記述

②項目ごとの評価

関する記述

③環境経営目標達成に関する記述



④具体的な見直し及び指示

中期環境經營目標

の設定 (★参照)

の設定 (★参照)

⑤当年度の反省を踏まえた次年度の目標導出

⑤当年度の反省を踏まえた次年度の目標導出

⑥今年度実績と次年度目標・計画の配置の工夫

11

⑦新規項目の強調



ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

①今後の方向性について記述

今後は、反省課題を検証し、次年度への成果につなげて参ります。社内としては、是迄の積極的に取り入れ環境保全活動が自社のビジネスの中核業務となるべく、来期より新たな事活動をはじめ、社会活動、社員への活動を含めた持続可能性レポートに近い形にしておりますが、不十分な点があると思いますので、ぜひ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください

代表者が自社の環境経営活動の評価と課題を述べ、今後の方向性を分かりやすく記述しています

④具体的な見直し及び指示内容

見直しの結果

環境方針	変更の必要性 有り	行動目標の追加 環境負荷減として重要な二酸化炭素排出量の削減など明確に記載する
環境目標	変更の必要性 無し	今年度より削減目標を1%にしたので変更の必要はない
環境活動計画	変更の必要性 無し	今年度より環境商品の販売について追加しているので変更の必要はない
その他環境経営システムの要素	変更の必要性 有り	現場における作業日報をデータ化することにより、集計の手間を省き、タイムリーにデータを把握できるシステムを構築すべき

全体評価、見直し結果、そして、次年度の取組内容が具体的に書かれています

⑤当年度の反省を踏まえた次年度の目標導出

⑦新規項目の強調

2015年度の環境活動計画（取組内容）
青字は2015年度に加えた活動内容等

活動内容	担当者	責任者
デマド監視装置による「見える化」	2015年度～	加茂
空調温度設定【切替・放電・納品室】夏26℃、冬20℃	2015年度～	松原・山下
空調温度設定【研習室】夏26℃、冬20℃	2015年度～	伊藤
空調温度設定【設計・事務室】夏27℃、冬20℃	設定温度変更	森田
空調温度設定【測定室】夏25℃、冬20℃	2015年度～	久米
使用していない場所は空調を停止（測定室を除く）	継続	全員
外気活用による空調停止	2015年度～	三宅
定期的なフィルターの清掃	継続	守屋・伊藤
使用していない場所は消灯、外気活用	継続&強化	全員
使用していない設備や機器の電源OFF	継続	全員
省エネ設備（照明・空調・付帯設備）への更新検討	2015年度～	加茂
省エネ設備（加工用設備）への更新検討	2015年度～	三宅・東田
不要なアイドリングストップ	継続	全員
車内の不要な荷物を下ろす	継続	全員
急発進・急加速禁止の徹底	継続	全員
タイヤの空気圧をチェック、定期点検	継続	環境管理推進者

当年度の反省を踏まえて次年度の目標を導出するとともに、次年度に行う具体的な活動内容とその担当者・責任者を明示している。

追加・変更項目が一目で分かるように強調されています

③環境経営目標未達に関する記述

2014年度の環境目標達成状況はE2-3(新紙使用量削減と裏紙活用の最大化)およびE4(化学物質使用量の削減:塗料不良率目標達成)について、昨年に引き続き目標値をクリアすることができませんでした。E2-3項については新しい塗料への積極的な新規開拓により出図枚数が増大したこと、E4項については経験の少ない塗装工の育成OJTなど単年度だけの成果最大化を狙わない取組みが継続しました。裏紙活用率については現状とそぐわない点が出てきており、次年度からは新紙使用量削減に絞ることにしました。塗料不良率については、もっと真剣に月々の結果を認識し、活動することで目標達成を目指します

ネガティブな側面も具体的に明示しており、代表者の将来の改善への意志が感じられます

②項目ごとの評価

9. 代表者による全体評価と見直し結果

【1】全体評価 《□=達成 □=未達成 □=前年並み》

二酸化炭素排出量
CO2排出量の62%を占める化石燃料が、昨年と比較すると20%削減できたことが、達成要因です。引き続き省エネに努めましょう。

エコ整備
「エコ整備」普及を図るため、地元新聞に「エコ整備プレゼント」の広告を掲載したところ、多くの応募があり達成できました。

産業マニフェスト
「汚泥」と「廃タイヤ」のマニフェスト管理と共に、運搬及び処理を託業している業者の許可証を四半期毎に確認しました。

廃棄物排出量
毎年度1回の「汚泥処理」を、本年度は2回行ったため達成はできませんでしたが、リデュース(発生抑制)を工夫しましょう。

リサイクル部品
リユース及びリビルト部品の需要は高まっています。整備や修理の時に「エコノミーでエコロジー」なることを説明しましょう。

コミュニケーション
ステークホルダーに環境保全活動への協力と取り組みをお願いすると共に、当社の取り組み情報を提供し信頼を育みましょう。

全体評価と合わせ、取組項目ごとに、代表者による評価がなされています

⑥今年度実績と次年度目標・計画の配置の工夫

見直しの結果

環境方針	変更の必要性 有り	行動目標の追加 環境負荷減として重要な二酸化炭素排出量の削減など明確に記載する
環境目標	変更の必要性 無し	今年度より削減目標を1%にしたので変更の必要はない
環境活動計画	変更の必要性 無し	今年度より環境商品の販売について追加しているので変更の必要はない
その他環境経営システムの要素	変更の必要性 有り	現場における作業日報をデータ化することにより、集計の手間を省き、タイムリーにデータを把握できるシステムを構築すべき

今年度の実績と次年度の目標・計画が比較しやすく配置されています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

2.10. その他

ここでは、レポート記載項目には分類するのが難しい工夫や、環境経営レポート全体に関する工夫の事例を紹介します。

キャッチフレーズの設定



（第13版）
プラマック株式会社

- 環境についてのキャッチフレーズを明示しています
- 社員重視のデザインになっています
- 本業の内容が伝わってきます

対照表

エコアクション21大学等高等教育機関向けガイドライン 2009年版の記載項目	本誌上の項目（該当頁）
①組織の概要（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）	Ⅱ. 新潟工科大学の概要 P4～P8
②対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	表紙、Ⅳ-1. 環境マネジメントシステムの状況 P10～P11 Ⅶ. エコアクション21ガイドラインとの対照表 P35
③環境方針	Ⅰ. 新潟工科大学 環境方針 P2～P3
④環境目標	Ⅲ. 環境目標とその実績 P9
⑤環境活動計画	Ⅳ-6 環境活動計画とその実施状況に係る点検結果 P31～P32
⑥環境目標の実績	Ⅲ. 環境目標とその実績 P9
⑦環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	Ⅳ-2 環境教育の推進 P12～Ⅳ-5 環境負荷削減の取組 P26 Ⅵ. 次年度の取組内容 P33
⑧環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	Ⅶ. 環境関連法規の遵守状況 P34
⑨代表者による全体評価と見直しの結果	Ⅴ. 代表者による評価及び見直し等の指示事項 P33

どのページを閲覧すれば見たい内容が読めるのかがすぐ分かります

全体構成が把握しやすい目次



CONTENTS

トップメッセージ	3
ゼリタ建設の概要	5
Plan	
環境方針 [環境憲章]	7
環境目標	8
環境活動計画	9
実施体制	10
Do	
教育・訓練の実施	11
環境コミュニケーションの実施	12
環境関連の表彰実績	13
Check	
環境目標の実績	15
取組結果とその評価	16
環境関連法規等の遵守状況	24
Action	
代表者の全体評価と見直しの結果	25
次年度の取組内容	26

すっきりした目次で構成が分かりやすいです

内部監査に関する記述

(1) 内部監査											
1. 監査対象	学校法人南山学院大学における環境活動										
2. 監査実施日	平成26年11月28日										
3. 監査担当者	内部監査委員 南山 真、田中真弓、八幡文昭、学生代表 竹田陽菜										
4. 監査目的	E-A2（更新委員会）内部環境監査										
5. 監査項目	①内部環境監査チェックリスト（環境経営システム）により確認 ②内部環境監査チェックリスト（環境活動レポート）により確認 ③事務局より2014年度環境活動計画の進捗状況と主たる環境活動の報告 ④大学、高専、短期大学、専修学校、及び 関係機関 各環境委員会より各部門における2014年度の環境活動についてプレゼンテーション ⑤質疑応答、調停										
6. 監査結果	<table><tr><th>監査委員氏名</th><th>確認結果</th></tr><tr><td>南山 真</td><td>それぞれの活動報告により改めて全学でエコ活動、特に省エネルギーを積極的に実施している点を確認する。今後とも全学で省エネルギー対策を継続して行うことが、環境負荷低減に寄与できる。</td></tr><tr><td>田中真弓</td><td>それぞれの担当から環境活動を行っていることは、大変心強い。今後も、多岐にわたる活動を継続してほしい。</td></tr><tr><td>八幡文昭</td><td>それぞれの努力して環境活動を継続している点は評価する。学生、生徒、教員数が減少するなか、省エネルギー対策効果をしっかりと行ってほしい。</td></tr><tr><td>NALS 部 竹田陽菜</td><td>事務局職員もNALS部が十分に活躍できるような環境委員会と連携体制を築きたい。</td></tr></table>	監査委員氏名	確認結果	南山 真	それぞれの活動報告により改めて全学でエコ活動、特に省エネルギーを積極的に実施している点を確認する。今後とも全学で省エネルギー対策を継続して行うことが、環境負荷低減に寄与できる。	田中真弓	それぞれの担当から環境活動を行っていることは、大変心強い。今後も、多岐にわたる活動を継続してほしい。	八幡文昭	それぞれの努力して環境活動を継続している点は評価する。学生、生徒、教員数が減少するなか、省エネルギー対策効果をしっかりと行ってほしい。	NALS 部 竹田陽菜	事務局職員もNALS部が十分に活躍できるような環境委員会と連携体制を築きたい。
監査委員氏名	確認結果										
南山 真	それぞれの活動報告により改めて全学でエコ活動、特に省エネルギーを積極的に実施している点を確認する。今後とも全学で省エネルギー対策を継続して行うことが、環境負荷低減に寄与できる。										
田中真弓	それぞれの担当から環境活動を行っていることは、大変心強い。今後も、多岐にわたる活動を継続してほしい。										
八幡文昭	それぞれの努力して環境活動を継続している点は評価する。学生、生徒、教員数が減少するなか、省エネルギー対策効果をしっかりと行ってほしい。										
NALS 部 竹田陽菜	事務局職員もNALS部が十分に活躍できるような環境委員会と連携体制を築きたい。										



監査委員からの評価を掲載することで、レポートの透明性や信頼度を向上させています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

メディア露出実績の掲載



国土交通省 近畿運輸局長表彰 環境保全優良店
京都自動車新聞 平成19年3月1日号

環境保全に積極的に取り組み、過去2年連続で京都運輸支局長表彰を受賞した事業場が3年目の審査連続合格で国土交通省 近畿運輸局長より表彰されます。

平成18年度は京都府内で21事業場が近畿運輸局長表彰を受賞しました。

👍 メディア露出など、外部からの評価を掲載することで、社員のモチベーションにつながり、信頼度の向上にも繋がります

👉 メディア露出件数等を把握し、時系列で分かりやすくまとめるとさらに良いでしょう

環境取組の自己チェック

【2】今年度の取組内容（30項目）【取組ができた項目に☑を入れましょう！】

(1) 総エネルギー投入量の主な削減活動（13項目）

- ① 事務所及び工場の照明を休憩時には消灯しました。
- ② 使用しないパソコンの電源を休憩時間には切りました。
- ③ トイレや給湯室の照明を使用後消灯しました。
- ④ 待機電力を消費する家電製品及び使用しない事務機器は主電源を切りました。
- ⑤ 暖房温度(20℃)、冷房温度(28℃)の設定をしました。
- ⑥ 社有車に「エコドライブ宣言車ステッカー」を貼付し実践しました。
- ⑦ 社有車の利用は必要最小限に止め合理的な使用をしました。
- ⑧ 社有車の燃費を把握し低減に努めました。
- ⑨ 二酸化炭素排出量を把握し低減に努めました。
- ⑩ 社内から排出する紙類は再利用し不要になった紙はリサイクルしました。
- ⑪ 社内から排出する廃棄物は分別してリサイクルしました。
- ⑫ 工場や駐車場の水は使用の都度止水しました。
- ⑬ トイレや給湯室の水は節水に努めました。

(2) 環境に配慮した活動（10項目）

- ⑭ お客さまに販売する自動車や用品は省燃費商品を選びました。
- ⑮ お客さまにリユース部品やリビルト部品などの利用を勧めました。
- ⑯ お客さまにエコ整備と法定点検の励行を普及に努めました。
- ⑰ お客さまにエコドライブを積極的に推奨しました。
- ⑱ お客さまにも廃棄物の分別回収を呼びかけました。
- ⑲ 機械設備の入れ替えや購入の際は省エネルギーのものを選びました。
- ⑳ 家電製品、機械器具、備品、用品類はエコマーク製品を選びました。
- ㉑ 事務用品などの購入はグリーン製品を選びました。
- ㉒ 資料等は両面印刷などで用紙の使用量を削減に努めました。
- ㉓ 使い捨て製品の購入を控えリユース可能な製品を選びました。

👍 取組内容の自己チェックリストを掲載することで、内部コミュニケーションのツールとして活用することができます

さまざまな環境・社会関連活動



👍 環境・社会関連活動の内容を写真を使って効果的に説明しています

外部評価に関する記述

第18回環境コミュニケーション大賞 「優良賞」を受賞しました!

第18回 環境コミュニケーション大賞 表彰式

主催：環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム

・期日：2015年2月25日
・場所：品川プリンスホテル（東京都港区）



※「環境コミュニケーション大賞」とは（環境省ホームページより）
「環境コミュニケーション大賞」は、優れた環境報告書等や環境活動レポート、およびテレビ環境CMを表彰することにより、事業者等の環境コミュニケーションへの取り組みを促進するとともに、その質の向上を図ることを目的とする表彰制度です。昨年度、計18回実施されています。
第18回環境コミュニケーション大賞に於いて、第17回で受賞した「奨励賞」に続いて、「優良賞」（第18回より新設）を受賞しました!! （写真：山本審査委員長様と環境管理責任者）

取組では、グリーンカーテンの設置、トイレットフロートバルブの節水タイプへの換装、MSDSの重点を独自にまとめた要約版の更新など、新たに3つの新規項目に着目されています。
環境活動レポートの印刷においても、片面印刷から両面印刷に変更されるなどの改善が施されており、前年の奨励賞受賞に満足することなく、継続的改善を追求する姿勢が感じられました。
他にも、想定される緊急事態やその対応方法、環境関連法規制などについて事業に即した具体的な情報が記載されており、EMSが着実に運用されていることが伺える内容となっています。
一方、紙使用量、廃棄物等目標に未達成項目が多いことが気になります。
取組結果やパフォーマンスに対してはこれからもこだわりを強めて環境活動を継続していくことが期待されます。

👍 外部評価を掲載することで、社員のモチベーションにつながり、信頼度の向上にも繋がります

👉 受賞歴等を時系列で分かりやすくまとめるとさらに良いでしょう

外部コミュニケーション機会の創出

○外部コミュニケーション



各工事現場には、外部用コミュニケーションボックスを設置し、工事情報やアンケート用紙等を備え付けています。また、レポートやEA21のパンフレットを、地元の役場や学校にも配布し、PRを行いました。

👍 組織外部とのコミュニケーションを円滑にするための取組が行われています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

本業での環境取組推進によるブランド価値の向上

④ 環境対応商品の売上高アップ ※自社ブランド製品の販売実績



売上の一部を(仮)オイスカへ寄付している
「カラーペーパー」シリーズ

グリーン購入法適合用紙
「環境紙」

売上
寄付

■対象商品

- 売上の一部を環境保全団体に
- 原料に産材や再生材を使用し、
- 包装材に産材を使用している。

■目標・次年度へ

売上の売上高からみた割合、売上
比率、公表はできませんが、多
くあります。
これは売上の割合が変化しており、I
メーカーとしては機会などから
シフトはポイントを上げました。
たとえ感があります。

前年対比 +1.4%

	2013年度	2014年度	2015年度
環境対応商品	27,081万円	28,042万円	28,401万円
前年比		96.1%	101.30%

当社基準による自社ブランドでの売上高です。



事業活動そのものに環境配慮を組み込み、目標化し、目標達成に向けて取り組むことで、外部取引先等にたいする営業力の向上にも繋がります

デザインの統一

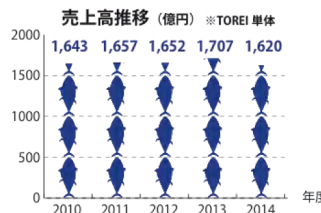
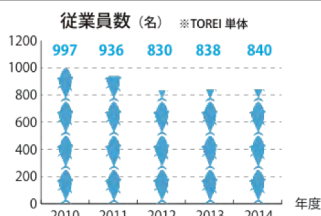
環境活動レポート

eureks
コミュニケーション



レポート全体を通して、見やすいデザインに統一されています

事業内容と関連させたデザイン



事業内容に合わせたアイコンを使っている点がユニークです

前回レポートとの差分を強調

Indices

- ① 平成26年9月に低濃度PCB廃棄物無害化処理の環境大臣認定を取得いたしました
- ② 平成27年2月に環境コミュニケーション大賞 優秀賞、平成26年12月におおさか(P19参照)
- ③ 焼却炉の押し込み送風機モーターをインバーター式へ変更する等、省エネ活動



当該年度の特筆すべき事項をトピックスとして明示しています

チームによる情報収集・レポート作成

(写真変更予定)

エコアクションサポーター会議(平成25年度)

日程	参加人数	議題
4月25日	22名	・感染性廃棄物の分別について ・前年度環境目標達成状況について 計3議題
5月22日	15名	・統計資料の報告 ・パソコン稼働状況調査について他 計4議題
6月26日	21名	・夏季エコアクションラウンド結果について ・感染性廃棄物について 計4議題
7月24日	20名	・夏季の電力使用について ・LED照明導入による削減効果 他 計3議題
8月28日	20名	・統計資料の報告 ・感染性廃棄物分別方法について 計3議題
9月25日	20名	・統計資料の報告 ・感染性廃棄物の異物混入について他 計3議題
10月23日	16名	・感染性廃棄物削減対策 ・コピー使用量 ・内部監査質問の回答 計4議題
11月17日	18名	・統計資料の報告 ・管理職対象環境教育について 計3議題
エコアクション21中間審査の為、開催せず		
1月23日	17名	・エコアクション21中間審査結果 ・パソコン使用について他 計4議題
2月26日	14名	・統計資料の報告 ・冬季エコアクションラウンドについて 計3議題
4月24日	17名	・統計資料の報告 ・環境目標及び次年度の活動 ・病棟空調温度設定 計4議題



チームを組織して、エコアクション21に関する情報収集・目標設定・レポート作成等の活動を行っています

読み物としての工夫



通信スタイルで、読み物として読みたくなるような工夫がなされています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

3. 継続的發展段階

継続的發展段階は、ひとつの目安として、エコアクション21に5年以上取り組んでいる事業者が到達していることを期待される段階です。發展段階以上に、エコアクション21の取組が事業と深く結びつき、環境経営として一体化されていて、環境への取組が自社の成長や価値向上に繋がっていることがひとつの特徴です。

3.1. 組織の概要

3.2. 対象範囲

継続的發展段階では、事業内容と環境課題との関連性を分かりやすく記載するとともに、各種の定量データを明示し透明性を高めるとともに、環境に対する取組が自社の成長や価値向上に繋がられていることが分かれると良いでしょう。



環境会計

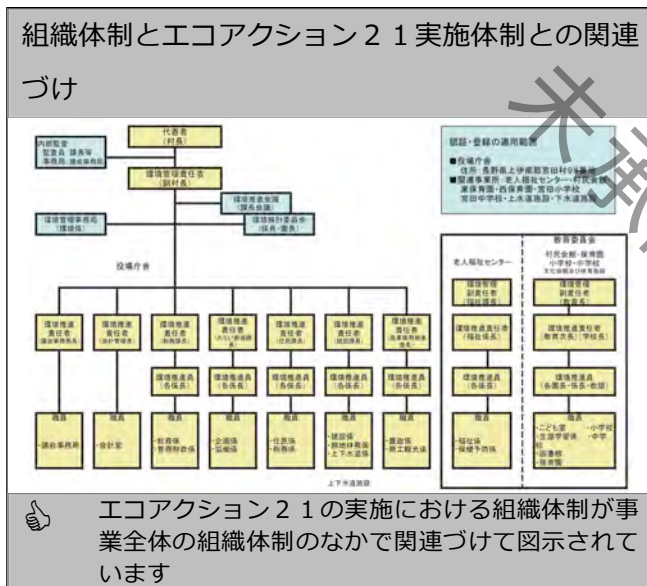
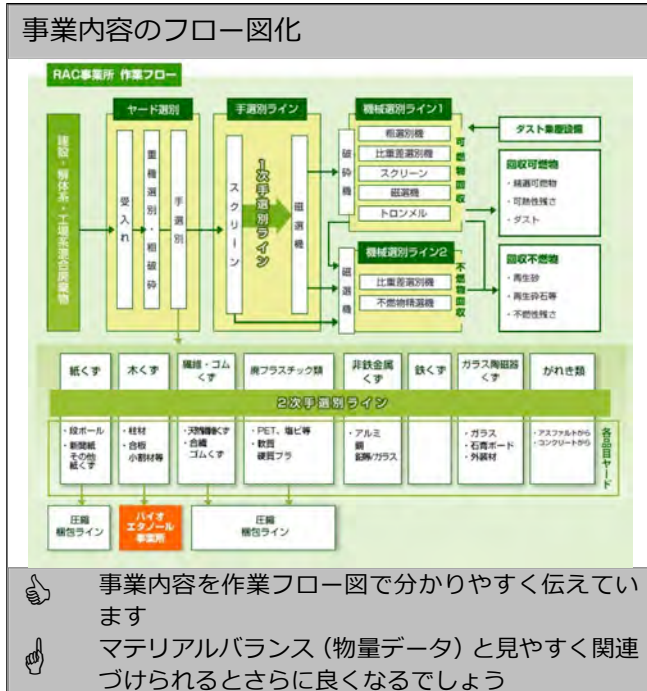
■環境活動コスト

環境活動の分類	計上内容	金額 (百万円)
公害防止	浄化槽メンテナンス費用・法定検査手数料、清掃費用他	0.17
CO ₂ 削減	本店建屋の空調設備入替えに伴う新規リース料 ハイブリッド車導入に伴うリース料差額	1.03
資源循環	一般廃棄物および産業廃棄物のリサイクル費用	14.52※6
グリーン調達	事務用品グリーン購入費用（総額としています）	1.23
社内外教育	環境関連社外講習費用、社内教育（業務支援）費用、環境関連図書費	1.63
EMS構築・運用	EA21・FSC・COC審査費用、運用に係る人件費他	4.05
生物多様性保全	希少植物の保全活動に係る人件費	0.16
地域貢献活動	緑ふれあい運動ボランティア作成費用、ボランティア活動人件費他	1.20
情報発信	ホームページ運営費用、環境活動レポートの配布に係る印刷費用	0.14
合 計		24.13

※6 樹木伐採工事に伴い発生した木屑（産業廃棄物）のリサイクル費用が約9割を占めます。

👍 環境保全活動から生じたコストと、そこから得られた経済的な効果を明らかにしています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)



組織全体に占める割合（→発展段階「組織の概要」の「地図化」を参照）

➡



ブランド価値向上を意識した語り

3) .沿革(当社69年のあゆみ)

1946～69 草創期(ハトメ、時計バンド等の仕入販売からスタート)

- 1946(S21). 3 東京都荒川区三河島にて「来商店」創業(写真①)
- 1952(S27). 7 「有限会社来商店」と改組
- 1952(S27). 8 東京都足立区柳原に協力工場設置
- 1953(S28).10 同葛飾区奥戸本町に協力工場設置
- 1956(S31). 6 同台東区入谷に移転
- 1962(S37).12 「有限会社来ハトム店」と改称

1969～74 金町工場設立(意願のメーカーとしてのスタート)

- 1969(S44). 3 東京都葛飾区新徳町に「金町工場」設立
- 1971(S46). 4 東京都台東区入谷1-33-5に本社移転

1974～98 八潮工場設立(金属部品メーカーとして大きく発展)

- 1974(S49). 4 来ハトム工業株式会社と改組。資本金¥10,000,000
- 1975(S50). 3 増資。資本金¥25,000,000に
- 1990(H 2). 3 本社機能を全て八潮工場へ移管(写真②、③)
- 1996(H 8). 3 増資。資本金¥35,000,000に

1998～現在 アルミ材料専門製造・加工メーカーへ

- 1998(H 10). 3 鉄、真鍮から撤退、アルミ材料専門メーカーとなる
- 2004(H 16). 1 業界初の炭化水素洗浄設備導入(写真④)
- 2005(H 17). 7 ISO9001:2000の認証取得
- 2007(H 19). 3 年間売上高10億円を達成
- 2010(H 22). 9 エコアクション21認証取得(認証・登録番号0005644)
- 2012(H 24). 2 第15回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門奨励賞受賞
- 2013(H 25). 3 第16回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門大賞受賞(写真⑤)
- 2013(H 25). 6 『平成25年版環境白書』(環境省編)に当社活動掲載される(写真⑥)
- 2014(H 26).10 『日経エコロジー』(日経BP社)に当社活動掲載される
- 2015(H 27). 2 第18回環境コミュニケーション大賞環境活動レポート部門優良賞(写真⑦)
- 2015(H 27). 3 第16回彩の国埼玉環境大賞優秀賞受賞(写真⑧)

写真

会社成長の語り方が明確で、読み手を意識したコミュニケーションになっていて、ブランド価値の向上につながると考えられます

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

3.3. 環境経営方針

なし

3.4. 環境経営目標

継続的发展段階では、環境経営目標が合理的かつ説得的に設定されていること、事業内容と環境課題を踏まえた自社らしさのあるユニークな目標が設定されていることなどが工夫例として挙げられるでしょう。

目標設定根拠・理由

過去7年間の搬出廃棄物量割合は、グラフ5のとおりです。

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
搬出廃棄物割合	92.1	80.9	52.3	26.7	30.6	24.9	27.0

グラフ 5 年度別搬出廃棄物割合

平成26年度「搬出廃棄物割合」環境目標値
平成26年度の環境目標値はグラフ5を参考にし、最も低かった24年度並みの24.9%としました。

👍 設定された目標の根拠・理由を、過去の実績グラフと合わせて説明しています

環境取組を通じたブランド力向上

平均在院日数の短縮

目標達成

・ 在院日数	目標 12.8 日
	実績 12.6 日
	※前年度(平成24年) 12.9 日

👍 環境とは一見関係がないように見える取組ですが、こうしたユニークな取組を設定し、情報開示することで、自社のブランド価値向上にもなります

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考に見てみてください。(URL等)

3.5. 環境経営計画

3.6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

3.7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

継続的發展段階では、自社の環境取組が他の事業活動と一体化されておこなわれていること、環境負荷の発生源を工夫により特定し、実行可能かつ効果的な改善策が導出されていること、自社だけに留まらず取引先等のバリューチェーンを通じた環境取組へと繋げていけること等が例として挙げられるでしょう。

バリューチェーンを通じた環境取組

一般廃棄物の削減	・外部から持ち込み品の廃棄物の抑制 2013年5月、8月、11月、2014年2月に呼びかけ、ごみ箱に「外部からのゴミの廃棄禁止」POP掲示。 ・一般廃棄物の分別の徹底 ビニール類（産業廃棄物）と有機物をハッキリ分ける。缶類（印刷）はリサイクルに出来ないなどの認識の徹底。
産業廃棄物の削減	・梱包資材低減の推奨・検討 LCL梱包の「ラップ」低減（外製庫へ依頼）※LCLとはコンテナ1本に満たない小口貨物のこと。 ・定期的な最終処分先の視察 年に1回の視察。2013年は5月。 ・産業廃棄物の分別の徹底 ビニール袋等と塩化ビニールを明確に分別。（塩化は一般ごみ） ・組立仕事の搬入時、「木製パレット」の持ち帰り推進

バリューチェーンを通じた環境取組が行われています

シミュレーションを用いた改善策の導出

月次あたりの電気使用量シミュレーション

大項目	kWh/月
空調設備	12,388
照明	2,501
工作機械	6,950
付帯設備	188
事務設備	118
合計	22,145

事業所全体の電気使用量 kWh/月

シミュレーションを活用して改善策を導出する基礎情報を得ています

事業評価の一環として環境取組を評価

事務事業評価の評価基準

事務事業の課題を浮かび上げさせ、効率や効果の改善を図ることなどを目的に実施。目標値として掲げられた指標の達成状況のほかに、ニーズやコスト、効果なども項目ごとに判定し、事業全体を総合的に以下の区分で評価している。

A：極めて良好に実施 B：適切に実施されている
C：一部改善の余地あり D：改善を要する

担当	事務事業	主な事業内容	評価の目安となる指標			事業評価
			2013実績	2014目標	2014実績	
住民課	一般ごみ収集	可燃ごみの収集と焼却処理	回収量 965 t	960 t	985 t	B
	処理業務	不燃ごみの収集と処理	回収量 137 t	130 t	127 t	
	ごみ減量事業	資源物（紙・布・ビン・缶・ペットボトル等）回収	回収量 622 t	630 t	601 t	B
		一般家庭ごみの減量化	1人1日排出量 516 g	515 g	513 g	
		ごみ処理費用の有料化（ごみ袋購入チケットの配布）	チケット配布に対する利用率 73 %	70 %	65 %	
		生ごみ処理費購入補助	集積台数 575 台	580 台	580 台	

環境に関連する事業について、事務事業評価の一環として行い、その結果を分かりやすく表示しています

他の環境管理指標との連携

■エネルギー管理状況

- ・貴事業所のエネルギー管理状況は平均点で5でAランクです。
- ・エネルギー管理状況の詳細については下記チェック項目表をご覧ください。
- ・チェックが×の項目について改善をご検討ください。
- ・なお、ランク付けは平成24年度の省エネルギー診断結果（約900件）をベースにした参考値です。
- ・エコキャンパスの推進の5年目に入り最終段階にあります。
- ・管理体制も含め中期計画での設備更新も計画されていますが、今後学生側及び外部利用者の協力が必要なテーマ探しが必要です。

(A：平均点4.0以上上位20%圏内です。B：平均点3.5～3.9以上20～40%圏内です。C：3.4以下は上位40%圏内です。)

区分	評価	項目	質問	結果
管理状況	5.0	組織の有無	エネルギーを管理する責任者や部署を決めていますか	☐
		トップの意思表示	ポスターやスローガン等で周知を図っていますか	☐
		関連部署の連携	複数部署からのメンバーが活動に参加していますか	☐
		活動記録	エネルギー管理活動の記録（議事録など）はありますか	☐
		計画的な人材育成	エネルギー管理に関する人材育成をしていますか	☐
運転管理	5.0	運転基準	主要設備の運転基準はありますか	☐
		運転管理する人	基準に従って、運転管理する人を決めていますか	☐
		最大電力管理	デマンド計画などで最大電力に注意していますか	☐
		基準の見直し	運転基準は必要に応じて見直していますか	☐

マネジメント状況を外部のチェックリストで可視化しています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション21中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL等)

3.8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

なし

3.9. 代表者による全体評価と見直し及び指示、並びに次年度の環境経営目標と取組内容

継続的發展段階では、事業内容と一体化された環境取組が全社的かつ組織的に推進されていること、次のPDCAサイクルのために具体的な見直し・指示が定量化されていることなどが例として挙げられるでしょう。

環境管理責任者による評価 ■環境管理責任者の経緯 私共中興の全業、Eアコンを買替える。社用車を最新のものに入れ替える。日頃から占める割合が高いがゆえに、それだけの設備投資で数字に大きな変化が生まれます。古い言い方をすれば、お食で解決しているような形です。本来の削減とは地味な積み重ねで生み出すものであり、それが数字に現れた時にこそ大きな数値があります。今回はEアコンと車入れ替えることで数字に変化がありました。営業部に入った新人が今年から計数担当になりました。ぜひ積み重ねの意識で更なる削減に取り組んでほしいとおもいます。 電気、ガス、水、廃棄物の削減を期して目標を立てようとして2年が経過しました。熱心に削減を考える者と何となく今までおやりやっていた者。ここに来て意識差が生じています。確かに削減しようというのはいくつかずかしいところがあります。2017年度は削減を覚悟で目標を立てることを検討します。新しい事業も期待したいとおもいます。 最後に実施はEアコンを始めて10周年になります。当初は「面倒くさい」やら「なぜそこまで？」などという声ばかりで、今のよう自主性は有りませんでした。今や社員一同た1つの目標である削減に誇りを保っている。個人的にはそれだけで嬉しい限りです。 2016年8月28日 中興 中興 代表者だけでなく経営のミドル層も自らの言葉で語り、きちんと関与していることが分かります	全体での取組意義の強調 新規社員の声（EA21環境経営に取組んでの感想） 平成27年5月に入社し、入社間もない頃から環境事務局の一員として、エコアクションに取組んできました。私自身、建設業をこれまで外から見て知ってはいましたが、ここは、私がこれまでイメージしていた建設業の会社とは、まるで違ってました。当時はすでに山櫻プロジェクトがスタートしており、社員の方が桜の種を拾ったり挿木をしたり、植樹をしたりお箸を作ったり、現場に行けば、夏期冬期の厳しい環境の中でも仕事を楽しんでいる社員の姿がありました。入社の際言われた言葉があります。『持続可能な社会を作るには、持続可能な会社でなければなりません。持続可能な会社を作るには、持続可能な地域でなければなりません』、エコアクション、山櫻プロジェクト、土木事業、一見関連のないようにも思っていました。社長をはじめ、会社の先輩方、現場の方と仕事をともにする事で、今やっとその言葉が理解できるようになりました。まだ入社して間もない私ですが、この会社で環境経営に携われた事、環境活動レポート作成に携われた事、すべてが今後の私にとって大きな財産となりました。これからもこの会社で、地球環境の保全と地域社会の発展の為、そして自分自身の成長の為に、環境経営に携わっていきたいと思います。（環境事務局 岡崎麻美） 一部の社員に偏った取組ではなく、新入社員も含めた組織全体での取組である意義が強調されています
次年度取組の担当者・責任者を明示（→「組織の概要」を参照） 代表者だけでなく経営のミドル層も自らの言葉で語り、きちんと関与していることが分かります	見直し及び指示内容の定量化 代表者による見直し及び指示内容が定量的に明示されています

ここで紹介している例以外にも、エコアクション 2.1 中央事務局のウェブサイトには多くの関連事例が掲載されています。
是非参考にしてみてください。(URL 等)

3.10. その他

継続的發展段階では、事業者が始めた環境取組が自社と関係する人々を通じて外部にも広がるような取組がおこなわれていることが事例として挙げられるでしょう。そうした取組の推進のためには、事業者の明確なトップメッセージが重要になるでしょう。

事業内容と環境課題の関連づけ

資源の持続的利用への取組

国際条約で定められた漁獲枠を遵守し、天然資源を保全します。

TOREIの主要取扱品目であるマグロ類は、国際条約で各国にそれぞれの漁獲数量が割り当てられています。私たちはこの枠を遵守し、水産資源の持続可能な利用に取り組んでいます。

ICCAT (大西洋マグロ類保存国際条約)

マグロ法（マグロ資源の保存及び消費の促進に関する特別措置法）



事業内容と環境保全との関わりが記述されています。

顧客との連携による環境活動



👍 顧客と連携して、ユニークな環境取組を PR しています

マンパワー確保のための広報



👍 取組継続のためのマンパワーを確保するために、環境に関心のある読者に対して告知をしています

関係者やその家族への環境教育



👍 関係者やその家族にも環境教育を実施しています

明確なトップメッセージ

[TOP MESSAGE](#)

水産資源の持続的利用を通じて、豊かな社会の実現に努めるとともに、地球環境の維持に貢献し続ける企業を目指す。

軍需推進と CSR 活動

TOREIは、1971年に水産物の取扱いはじめ、今年で44年目を迎えました。創業以来、輸産・土・生・鮮を中心に、世界の海から日本の食卓に多様な水産物・水産加工品をお届けする総合水産商社として歩んできました。地球上では、さまざまな生物がバランスを保ちながら、多種多様な生態系を形成することで、我々が喜びを享受しており、生物多様性の配産や資源管理の取組は、持続可能な社会の形成と発展に欠かせません。気象災害や温暖化をはじめとした地球規模での環境問題は、水産資源を取り扱っている企業として心配な問題であり、今後も「地球規模に配慮しない企業は存続しえない」との認識に立ち、積極的、誠実に事業活動を通じて取組を推進してまいります。

👍 幅広い読者を想定し、代表者による環境経営活動の位置づけが明確に述べられています

第Ⅲ部

活用編

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1. 導入段階（1～2 年 ⁴ ） | XX ページ |
| 2. 発展段階（3～5 年*） | XX ページ |
| 3. 継続的発展段階（6 年以上*） | XX ページ |

【凡例】



: 良い点



: さらに良くするワンポイント

⁴ それぞれの段階の年数はあくまで目安です。事業者の取組レベルに合わせて、無理のない範囲で環境経営レポートの活用に取り組んでください。

【以下の取組について、可能な場合は、取り組んでいる事業者の代表者、又は担当者等により、環境経営レポートを活用した効果を述べてもらい、これを掲載する。

これら以外の取組について、地域事務局、審査人に問い合わせ、事例募集中】

1. 導入段階

エコアクション21の取組、そしてエコアクション21に取り組んだ結果を取りまとめて作成した環境活動レポートの最も重要なことは、これを全職員で「共有」することです。

ですから作成した第一号（初年度）の環境経営レポートは、組織の全職員に配布しましょう。全職員への配布が難しい場合は、管理職及び一般職員の代表に配布するとともに、社内の掲示板や全職員の目に付く場所に掲示しましょう。

また、可能な場合は環境経営レポートを主要な取引先に代表者の挨拶文を添えて送付しましょう。

2. 発展段階

発展段階での工夫には、次のような方法が行われています。

この段階でのポイントは、環境経営レポートを活用して

- ・ 職員教育のツールとして、職員の意識向上、モチベーション（やる気）向上を図る
- ・ 取引先に自社のエコアクション21の取組をアピールし、信頼性のアップを図る
- ・ 金融機関や地元の自治体にエコアクション21の取組をアピールし、信用度のアップを図る

等があります。

さらに、

- ・ 環境経営レポート作成チームを編成し、職員の創意工夫で作成する
- ・ 職員の「取組」を紹介したり、「声（インタビュー）」を掲載する
- ・ 代表者の「考えや思い」を掲載する

等もあります。

＜職員教育等のツールとしての活用＞

- ・ 環境経営レポートを使って会議等で繰り返しエコアクション 2.1 の取組を説明することにより、多くの社員の環境意識が向上した。
- ・ 環境経営レポートを活用して、社員に P D C A の説明を行い、エコアクション 2.1 の取組が発展した。
- ・ QC 会議を週 1 回実施しているが、その際に環境経営レポートも活用している。その結果、会議の内容が充実した。

＜取引先等への説明ツールとして活用＞

- ・ 協力会社の環境教育資料としてレポートを活用している。
- ・ 協力会社へ配布して、協力依頼のお礼とお願いに使用している。
- ・ グリーンパートナー取得企業・フニー株式会社、・キヤノン株式会社、セイコーエプソン株式会社との対応に EA21 レポートを活用している。
- ・ グループ（イワタニグループ）として ISO14001 を取得しており、親会社に報告するための環境負荷データ等を EA21 環境活動レポートにまとめて提出している。
- ・ 営業時に環境経営レポートは、形態の必需品となっている。認証取得は組織の営業をスムーズにさせ、顧客の信頼も得られやすい。
- ・ 環境経営レポートを顧客からの信頼確保のツールに活用している。
- ・ 環境経営レポートの縮小版（A5）を事務所の入り口に置いている。来客などが持ち帰っている。
- ・ クライアントへの環境プロモーションの提案において活用。（その他クリーンピック全国大会の実施等本業関連取組を推進）
- ・ 年 1100 冊事務局にて製本し、海外含む各支店に配布。営業マンはそれを顧客に紹介し、副産物のリユースのビジネスチャンスを探している。また、海外では日本の過去の公害対策の歴史を説明し、汚染防止を PR している。

＜金融機関や地元の自治体への説明ツールとして活用＞

- ・ 市や地域住民がバイオ燃料製造設備の見学に来ており、その際の説明資料としてバイオ燃料のパンフレットと環境経営レポートを併用している。

＜職員参加での作成＞

- ・ レポートの作成も含めてE A 2 1全体を若手社員の育成に活用している。レポートの作成担当者を若手に交代させたところ、創意工夫がなされるようになり若手の意識・能力も向上。他部門とのやりとりを通して社内コミュニケーションが活性化されマンネリ感が解消された。

＜職員の取組等を掲載＞

- ・ 本マニュアルの○ページに掲載（再掲）

3. 継続的发展段階

以下のような取組を、この段階での事例としてはどうか

- ・ 環境経営レポートを職員が自宅に持ち帰り、家族にエコアクション21の取組を紹介し、家庭での環境への取組に繋げている。
- ・ 子供が学校に環境経営レポートを持っていたことがきっかけで、授業において、「地域の会社の環境への取組」を紹介することとなり、その際に環境経営レポートを活用した。
- ・ 地域の子供たちを工場見学に積極的に受け入れており、その際に環境経営レポートを活用している。

レポート引用事業者一覧

本マニュアルの作成にあたり、以下の事業者の方々のレポートを引用させていただきました。

企業名	レポート名	住所？	電話番号？	メールアドレス？